

2022年度定時総会を開催

当連合会は6月8日（水）広島市において、2022年度定時総会を開催しました（総会の様子はオンラインでライブ配信も実施）。

冒頭の苅田会長挨拶に続いて、「2021年度事業報告」「2022年度事業計画および収支予算」「2021年度決算」「理事・監事の選任」について報告、審議し、原案どおり承認されました。

また、総会を受けた理事会において新しい会長が選任されたことから、新旧会長が退任・就任のあいさつを行いました。



[【事業計画についてはこちら】](#)

[【新役員体制はこちら】](#)

■ 苅田会長冒頭挨拶



本日は、皆様方には大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、当連合会の事業活動に対し日頃から多大なご支援とご協力をいただいております。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

さて、ご案内の通り、この2年余り、我々は、新型コロナウイルス感染の対応に振り回されてまいりましたが、ここきて、ウィルス特性の変化を踏まえ、感染対策も、徐々に緩和される方向にあります。

引き続き、日常の対策に一人ひとりが留意しながら、社会経済活動の本格的な回復につなげていければと考えています。

また、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化の様相を見せており、世界的な資源・原材料の価格高騰により、日本経済も大きな影響を受けています。政府の対策も講じられていますが、私共としても、リスク管理の観点から適切な対策を講じていくことが重要であると感じております。

一方、このような足元の状況とは離れたところで、人口減少・高齢化の進む我が国が将来にわたり持続可能な成長を図るためには、社会・経済構造の変革を進める必要があります。政府は、「人」「科学技術・イノベーション」「スタートアップ」「グリーン・デジタル」の4分野への重点的な投資を柱とする「新しい資本主義」の実現を目指していますが、当連合会としても、政府の目指す方向を踏まえて当地域が的確に対応していけるよう、取り組んでいきたいと考えています。

そのような状況認識を踏まえ、今後の活動を展開してまいりたいと考えております。具体的な事業計画は、後ほど詳しく説明させていただきますが、私からは、当連合会が重点的に取り組む課題について、3点ほど述べさせていただきます。

1 点目は、DXの推進です。

この2、3年DX実装に力を入れて取り組んできましたが、経営者と現場の双方からDXを推進していくことが重要だと感じております。そのような考え方に立ち、経営者向けの啓発活動や先進技術の企業活動へ取り込み支援の強化、デジタル分野の先進企業を域内企業に繋ぐ機会の提供や高度ICT人材の育成・確保の取り組みを加速してまいります。

2 点目はカーボンニュートラルへの取り組みです。

2050年カーボンニュートラル社会の実現は、将来の成長に繋げるためにも達成しなければならない社会的な課題です。

再生可能エネルギーの普及に加え、原子力の早期稼働を進めるなど、安価で安定的なエネルギーの確保を図りつつ、産業活動のカーボンニュートラル化を促進させるため、カーボンリサイクルなど脱炭素技術の導入・開発に向けた啓発活動や政府への要望活動を進めてまいります。

3 点目は、地方創生に向けた地域の魅力づくりです。

当中国地域は、中山間地域の比率が高く、中山間地域の自立のためにも、ICTを活用した“地域課題解決”と地域の特性を活かした「稼ぐ力」の育成が必要です。地域経営モデルの確立、地元特産品の市場拡大、スマート農業の普及等による一次産業の担い手への支援などを通して、地域としての魅力づくりを充実させてまいります。

以上お話した3点を含め、「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方」の実現を目指して、目に見える成果を一つひとつ積み上げ、会員の皆様のご期待にお応えしていく所存でございます。

今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申しあげ、開会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

会長交代に伴うあいさつ

■ 苅田 特別顧問（前会長）



私は、2016年6月、創立50周年を迎えた年に、会長に就任いたしました。以来6年間、皆様から常に変わらぬご支援・ご協力を賜り、大任を全うすることができました。改めて、深く感謝申し上げます。

私が会長に就任した年には、中国経連ビジョンが策定され、「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方」を目指し、「産業づくり」「地域づくり」「人づくり」の3つの軸を活動の柱に据え施策を展開してまいりました。

就任中は、当地域の技術の集積を生かした産業振興に向け、オープンイノベーションを促進する産官学の連携強化やデジタル技術の実装を進めるとともに、観光産業を次の時代に地域を支える産業に育成するため、瀬戸内におけるクルーズ振興やサイクルツーリズムの普及などにも取り組んでまいりました。

また、人口減少・高齢化の著しい当地域の持続的な発展に向け、中山間地域における地域経営モデルの策定、スマート農業の普及と地域農産品の販売促進等も進めてまいりました。

最近では、新たな課題であるスタートアップ企業の育成支援、カーボンニュートラル推進に向けたネットワークづくりに精力的に取り組んでいるところです。

いずれの取り組みも、多くの皆様のご支援・ご協力をいただいたお陰で、一定の成果をあげることができたのではないかと感じております。

依然として様々な課題が山積していますが、清水新会長のもと、中国地方の発展に向け、当連合会がしっかりとリード役を果たしていただきたいと思います。どうぞ皆様の一層のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

これまでの皆様方のご支援・ご協力に対して、重ねて心より感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。長い間、誠にありがとうございました。

■ 清水 新会長



このたび、中国経済連合会の会長に選任いただきました。

当連合会が設立されて以来、諸先輩方や、会員の皆様方が築いてこられた半世紀を超える歴史と功績を考えますと、会長の責務の大きさに、身の引き締まる思いでございます。

苅田前会長も挨拶で触れられたように、中国地方は、全国を上回る人口減少への対応、大都市圏と比べ遅れているデジタル化の加速、CO2排出量の多い産業群の脱炭素化など、数多くの課題を抱えています。

お陰様で、それらの課題解決に向けては、苅田前会長の見識とリーダーシップにより、道筋がつけられていると認識しています。

この道筋を継承し確実に発展させていくべく、行政・民間・大学等 幅広い関係者との協創を進め、活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方の実現に向けて、微力ながら全力を尽くしていく所存です。

皆様には、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますことをお願い申しあげ、簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。